

打楽器 公開レッスン

日 時 令和7年6月10日(火) 10時00分～11時50分

場 所 音楽棟3階 合唱合奏室

講 師 竹島 悟史 先生(NHK 交響楽団 打楽器奏者)

プログラム

10:00～ 講師紹介・講師演奏

A Minute of News / E. Novotney (小太鼓ソロ)

"Dear..." from A Letter / 竹島悟史 (マリンバソロ)

10:15～ 公開レッスン

鎌田 涼音(2年)

小太鼓 基礎打ち 1つ、2つ、5つ打ち

田辺 裕菜(3年)

French Suite for Percussion Solo IV. Gigue William Kraft

北島 伶菜(3年)

Romantica

Emmanuel Séjourné

竹島 悟史 TAKESHIMA Satoshi (打楽器)



NHK 交響楽団打楽器奏者。

神奈川県座間市出身。幼少より、ヤマハ音楽教室にて音楽を学ぶ。子供の自作自演をコンセプトとする活動「ジュニアオリジナルコンサート(JOC)」を通じ、国内外問わず数多くの公演に参加。16歳で、自作曲「望郷」を、タデウシュ・ストルガワ指揮群馬交響楽団と協演する。ヤマハマスタークラスに在籍し、作曲、ピアノ、指揮法、クラリネットなどを専門的に学ぶうち、最終的に打楽器を音楽活動の柱として歩み始める。

1995年、東京芸術大学音楽学部器楽科打楽器専攻入学。

1996年、第13回日本管打楽器コンクール打楽器部門第2位受賞。

2003年、NHK交響楽団へ入団。

2011年、東京オペラシティリサイタルシリーズ「B→C」第136回公演ソリスト。

2013年、N響第1756回定期演奏会に於いて、タン・ドゥン作曲「The Tears of Nature ～マリンバとオーケストラのための～」の日本初演ソリストを務める。

ソリストとして、これまでに NHK 交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、

群馬交響楽団、オーケストラアンサンブル金沢、大阪センチュリー交響楽団(現日本センチュリー交響楽団)、セン
トラル愛知交響楽団などと協演。クラシック音楽の打楽器奏者として、サイトウ・キネン・フェスティバルや現代音楽
などの室内楽を含む様々な公演への参加、ジャズプレーヤーや落語家とのコラボレーションなど、スタイルやジャン
ルの「枠」を超えた幅広いフィールドで、常に第一線で活躍している。また、その活動は打楽器の演奏にとどまら
ず、“ピアニスト”としてクラシックを始めとする様々なジャンルのアンサンブルピアノを担当する一面、そして多くの
演奏家からの作編曲依頼や自らが演奏するコンチェルトを作曲するなど“作・編曲家”としての顔、それぞれの音
楽活動に真摯な姿勢を示し、沸々とした体温のある音の数々は、多くの人の心を潤し続けている。あらゆるシーン
で信頼を受け、多種多様な活動に大きな注目を集めている気鋭の“音楽家”である。